



新型コロナの対応として

消毒方法が変わります

現在もなお、猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症に対して、アルコール消毒が有効であるとされていますが、入手が困難な状況が続いています。そのため、本校における消毒方法について本校学校薬剤師等と相談し、食品添加物として認められている『次亜塩素酸水』という消毒液を加えて、複数の消毒液で消毒体制を整えます。名前が似ている次亜塩素酸ナトリウム溶液(キッチンハイターなど)とは全く別物で、多くの抗菌・抗ウイルス活性が認められているものです。この次亜塩素酸水を用いて、学校環境の消毒(机・椅子・手すり・スクールバス等)や手指の消毒を実施いたします。有機物に触れると10秒程度で水に変わるため、手に触れても害のないものということで、安全に気を付けて実施する予定ですが、皮膚過敏のある方や少し不安のある方は、かかりつけの病院に相談してみてください。

“次亜塩素酸水”ってどんなもの? (厚生労働省 次亜塩素酸水 資料 参照)



「次亜塩素酸水」とは、殺菌料の一種であり、食塩や塩酸を水に溶かし電気分解することにより得られる次亜塩素酸を主成分とする酸性の水溶液です。日本では平成14年6月に食品添加物として指定され、使用基準及び成分規格が定められています。pHの値や生成方法によって、強酸性水、弱酸性水、微酸性水に分類されます。

この次亜塩素酸水ですが、各種殺菌剤との比較試験において、次亜塩素酸ナトリウム溶液と同等以上の殺菌効果が得られたとされています。そんな殺菌効果が高い次亜塩素酸水ですが、前述したとおり、食品添加物として認められている為、人体への影響は少なく、手荒れなどの心配は少ないとされています。(名前がよく似ている「次亜塩素酸ナトリウム溶液」は、アルカリ性の水溶液で、手指に直接触れると手荒れを引き起こしてしまいます。間違いのないようにしてください。)

- 1 外から帰ったら、せっけんで手を洗い、手指の消毒をする。
- 2 3つの密(密閉、密集、密接)を避けよう。
- 3 体力が低下しないように、規則正しい生活を送る。
- 4 外出するときはマスク着用を心がける。
- 5 室内を乾燥させないようにする。
- 6 こまめに換気をする。
- 7 「咳エチケット」を心がける。



☆咳やくしゃみのときには、ティッシュ、ハンカチなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむける。

☆使用後のティッシュはその都度捨てて、その後は手を洗う。

☆咳やくしゃみ等の症状がある人は、マスクをつける。

- 8 発熱等のかぜ症状がある場合には、自宅静養、病院受診をする。

★以下のような新型コロナウイルス感染症が疑われる発熱等の症状がある時は、「帰国者・接触者相談センター(丹波健康福祉事務所)」に相談し、その指示内容に基づき、電話連絡した上で受診してください。(TEL:0795-73-3765)

・息苦しさ(呼吸困難)や強いだるさ(倦怠感)、高熱など強い症状がある場合

・重症化しやすい人で発熱やせきなど比較的重いかぜ症状がある場合

・重症化しやすい人でなくても、発熱やせきなど比較的重いかぜ症状が続く場合
→すぐに相談してください。

・比較的重いかぜの症状が4日以上続く場合

→必ず相談してください。

★発熱等の症状があり受診した場合には、学校に連絡をお願いします。